

11月は児童虐待防止推進月間

児童虐待は社会全体で解決すべき問題で、早期発見・早期対応が大変重要です。児童虐待かもと思ったら、出産や子育てに悩んだら、すぐにご連絡をお願いします。

児童虐待とは…

●身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、家の外に締め出す など

●性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

●ネグレクト(育児放棄)

乳幼児を家に残して外出する、食事を与えない、ひどく不潔なままにする、自動車の中に放置する、重い病気でも受診をさせない など

●心理的虐待

言葉により脅かす、無視する、きょうだい間で差別的な扱いをする、子どもの前で夫婦間の暴力 など

子どもや保護者のこんなサインを見落としていませんか

【子どもについて】

●いつも子どもの泣き叫ぶ声や

待ったなし

保護者の怒鳴り声がある

■不自然な傷や打撲のあとがある

■衣類やからだがいいつも汚れている

■落ち着きがなく乱暴である

■表情が乏しい、活気がない

■夜遅くまで一人で家の外に

【保護者について】

■地域などと交流が少なく孤立している

■小さい子どもを家においたまま外出している

■子育てに関して拒否的・無関心である／強い不安や悩みを抱えている

■子どものけがについて不自然な説明をする

「しつけ」が行き過ぎると虐待にあたることもあります

子育てにおいて、「しつけ」と称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。

以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合いたしましょう。

- 子育てに体罰や暴言を使わない
- 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- 爆発寸前のイライラをクールダウン
- 親自身がSOSを出そう
- 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

連絡先・相談窓口

市子ども発達支援センター

☎ 35-3179

(夜間・休日は市役所 ☎ 32-3333)

児童相談所全国共通ダイヤル

☎ 189

飛驒山脈ジオパーク構想ジオサイト(第23章)

白水の滝

奥飛驒温泉郷中尾から焼岳への登山道の途中、展望所では、白水谷にある「白水(しらみず)の滝」を望むことができます。

この滝は、遠くからだと名前の示すように優雅さを感じますが、近くで見ると落差約45mもある豪快な滝です。

かつて焼岳は、硫黄ヶ岳と呼ばれていました。その名が示すように硫黄を採取していました。この硫黄分で谷水が白濁しています。川や滝の名称は、ここからきています。なお近くには、鉄成分を含む赤さびた岩石もあります。

滝の上半分は、「黒谷溶岩石」と呼ばれる安山岩で、多くの火山で見られる一般的な火山岩です。焼岳火山帯は、およそ10万年前に活動した旧期活動期と約3万年前に始まった新期活動期に分けられます。「黒谷溶岩」は、新期活動期の初期に流れた溶岩だと考えられています。年代測定によると、黒谷溶岩は、約1万5000年前に流れて固まった溶岩です。

滝の下半分、溶岩の下は、土石流堆積物です。白水の滝は、

土石流堆積物の上を流れた黒谷溶岩の末端部が急斜面になっているためできた滝だといえます。

白水の滝付近は、今でも、温泉成分がぎゅっしりとついていることから、焼岳が活火山であることを感じます。これらの噴出物質がたくさん堆積し、急斜面を作り出し、泥流や土石流を生み出しています。

白水谷は、割谷や黒谷と合流して足洗谷になります。下流には、土石流を抑えるため、「足洗谷第一号砂防堰堤」と呼ばれる1933(昭和8)年に造られた文化遺産があります。戦前から、自然災害から守るため、さまざまな工夫を先人は行ってきたことがうかがえます。

(飛驒地学研究会 中口清浩)



【問合】 飛驒山脈ジオパーク推進協議会

☎ 0578-84-0038

令和元年台風第19号災害義援金にご協力を

市役所本庁や支所に募金箱を設置しています。募集期間 令和2年3月31日(火)まで。